

平成28年度全国学力・学習状況調査結果について

1 実施日 平成28年 4月19日（火）

2 調査対象 第3学年生徒93名

3 調査内容

(1) 教科に関する調査（国語A、国語B 数学A、数学B）

Aは主として「知識」に関する問題、Bは主として「活用（知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力）」に関する問題です。

(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

4 調査結果

(1) 教科に関する調査

国語A（主として知識に関する問題）、国語B（主として活用に関する問題）は、ともに、おおむね全国平均正答率と同程度でした。

数学A（主として知識に関する問題）、数学B（主として活用に関する問題）も、ともに、おおむね全国平均正答率と同程度でした。

(2) 生徒質問紙調査

成果が見られた項目

- 家で、予習をしていますか。
- 家で、復習をしていますか。
- あなたの学級では、学級会などの時間に友達同士で話し合って学級のきまりなどを決めていると思いますか。

課題が見られた項目

- 学級のみんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか。
- 今住んでいる地域の行事に参加していますか。
- 今回の数学の問題について、解答を言葉や数、式を使って説明する問題がありましたが、最後まで解答を書こうと努力しましたか。

5 学力向上の取り組み

今回の調査結果では、数学科の「関数」「資料の活用」領域の問題において、課題がみられました。その対応策として、次の2点について重点的に取り組んでいきます。

- ・関数では、事象を理想化・単純化して、数量関係を図や表、式を使って表すような場を多くします。
- ・全教科の授業において、与えられた情報を分類整理する活動を行い、資料を活用して、生徒が積極的に考え、発表する場を多く設定します。

6 保護者・地域の皆様へ

生徒の学習環境・生活環境づくりについて、次の点で家庭や地域の方々のご協力をお願いいたします。

○家庭学習について

家庭学習の生活リズムの確立と学習時間の確保ができるよう環境づくりにご協力をお願いします。

○地域行事等へ参加

地域との関わり合いが少なくなってきていますので、機会があったときには積極的な参加の声かけをお願いします。